

第 83 回国公立大学図書館協力委員会 議事要録

日時 平成 29 年 12 月 8 日（金） 13 時 00 分～14 時 15 分

会場 慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟 1 階 会議室 A・B

出席者一覧

< 常任幹事館 >

東京大学附属図書館	事務部長	高橋 努
同	総務課長	熊渕 智行
筑波大学	附属図書館長	西川 博昭
同	学術情報部長	岡部 幸祐
同	学術情報部情報企画課長	奥村 小百合
大阪府立大学学術情報センター	学術情報室長	大前 富美
早稲田大学図書館	館長	深澤 良彰
同	事務部長	荘司 雅之
同	総務課長	本間 知佐子
慶應義塾大学メディアセンター	所長	赤木 完爾
同	本部事務長	風間 茂彦
同	本部課長	松本 和子

< 委員館 >

京都大学附属図書館	図書館企画課長	鈴木 秀樹
名古屋大学附属図書館	館長	森 仁志
同	事務部長	木下 聡
首都大学東京学術基盤センター	事務室図書・学術情報係長	町田 敦
名城大学附属図書館	附属図書館長事務取扱	佐川 雄二
同	情報管理課課長	皆見 司朗
東海大学付属図書館	館長	伊藤 一郎
同	次長	三井 悟
同	課長	紅谷 龍司
大阪工業大学図書館	館長	益山 新樹
東洋大学附属図書館	部長	岩井 悦子
同	課長	布施 賢治

< 専門委員会 >

大学図書館研究編集委員会主査

一橋大学

学術・図書館長

鈴木 宏子

大学図書館著作権検討委員会主査

早稲田大学

資料管理課兼情報管理課

服部 光泰

大学図書館著作権検討委員会顧問

大学改革支援・学位授与機構	教授	土屋 俊
シンポジウム企画・運営委員会主査		
東京大学	附属図書館総務課長	熊淵 智行
GIF プロジェクトチーム主査		
大阪大学	附属図書館事務部長	大西 直樹
Web サイト運用チーム主査		
早稲田大学	図書館事務部長	荘司 雅之

<オブザーバー>

文部科学省	研究振興局参事官（情報担当）付	
	学術基盤整備室長	丸山 修一
同	学術基盤整備室大学図書館係長	大園 岳雄
同	学術基盤整備室大学図書館係	大堀 明日香
国立国会図書館	図書館協力課長	大島 康作
国立情報学研究所	学術基盤推進部	
	次長	江川 和子
同	学術コンテンツ課長	小野 亘
同	図書館連携・協力室長	小陳 左和子

<委員長館>

横浜市立大学学術情報センター	センター長	三浦 敬
同	学務・教務部学術情報課長	浅見 敏雄
同	学務・教務部学術情報課	
	学術情報担当係長	中川 勝彦
同	学務・教務部学術情報課	
	医学情報担当係長	石井 直美
同	学務・教務部学術情報課学術情報担当	田中 千尋
同	学務・教務部学術情報課学術情報担当	宍倉 明日香
同	学務・教務部学術情報課学術情報担当	海浦 浩子

配付資料一覧

資料 1	第83回 国公立大学図書館協力委員会 出席者一覧
資料 2	国公立大学図書館協力委員会名簿
資料 3	平成29年度国公立大学図書館協力委員会《連絡名簿》
資料 4	国公立大学図書館協力委員会専門委員会委員・ワーキンググループ名簿
資料 5	平成29年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会 次第
資料 6 - 1	大学図書館研究編集委員会活動報告（平成29年4月～）
資料 6 - 2	「大学図書館研究」J-STAGE公開参考ページ
資料 6 - 3	大学図書館研究（J-STAGE）利用統計
資料 7	平成29年度大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループ活動報告・計画
資料 8 - 1	大学図書館シンポジウム企画・運営委員会活動報告

資料8-2	平成29年度大学図書館シンポジウム申込受付フォーム
資料8-3	平成29年度大学図書館シンポジウム・アンケート結果まとめ
資料8-4	平成29年度大学図書館シンポジウムの開催について
資料9	日米ILL/DDおよび日韓ILL/DDプロジェクト状況報告
資料10	Webサイト運用チーム活動報告
資料11	大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）活動報告 (2017年7月28日～11月16日の進捗状況)
資料12-1	オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について（2017年度7月～11月）
資料12-2	JPCOAR Newsletter「CoCOAR」No.1
資料13	これからの学術情報システム構築検討委員会活動報告（平成29年度上半期）
資料14	SCOAP ³ タスクフォースの活動状況について
資料15	国立大学図書館協会活動報告
資料16	公立大学協会図書館協議会活動報告（平成29年7月～平成29年11月）
資料17	私立大学図書館協会 活動報告（2017年8月～2017年11月）
資料18	日本図書館協会大学図書館部会活動報告（2017年8月～2017年10月）
資料19	国立情報学研究所からの報告
資料20-1	図書館向けデジタル化資料送信サービス（図書館送信）の現在の状況について（報告）
資料20-2	図書館協力事業関連の報告（報告）
資料20-3	平成29年度国立国会図書館の取組（報告）
資料21	※「机上配布」資料に差し替え
資料22-1	国公立大学図書館協力委員会平成28年度決算報告書（案）
資料22-2	平成28年度監査報告書
資料23	国公立大学図書館協力委員会平成29年度予算（案）
資料24-1	国公立大学図書館協力委員会運営要綱
資料24-2	国公立大学図書館協力委員会運営要綱諒解事項
資料24-3	大学図書館協力ニュース編集委員会運営細則【廃止】
資料24-4	大学図書館研究編集委員会運営細則
資料24-5	国公立大学図書館協力委員会 大学図書館著作権検討委員会運営細則
資料24-6	国公立大学図書館協力委員会 大学図書館著作権検討委員会運営細則内規
資料24-7	シンポジウム企画・運営委員会運営細則
資料24-8	GIFプロジェクトチーム運営細則
資料25	国公立大学図書館協力委員会開催記録一覧
机上配布	「明治150年」関連施策の推進について（文部科学省報告資料）

委員長館である横浜市立大学学術情報センター三浦センター長による開会挨拶の後、出席者の自己紹介、配付資料の確認を行い、議事に入った。

議事

1 報告事項

(1) 委員長館会務報告

中川係長（横浜市立大学[事務局]）より、以下のとおり報告があった。

ア 事務引継

平成29年8月24日に委員長及び事務局の交代と引継が行われたとの報告があった。

- イ 出席者一覧、協力委員会名簿、専門委員会名簿
資料1～4に基づき報告があった。
- ウ 平成29年度第1回常任幹事会
本会議に先立ち、同日11時より第1回常任幹事会を開催した旨報告があった。
- エ 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会 平成29年12月8日
資料5に基づき議事進行について説明があった。

(2) 「大学図書館研究」編集委員会報告

鈴木部長（一橋大学[主査]）より、資料6-1～6-3に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 107号について平成29年11月刊行予定としていたが、J-STAGE上での公開が遅延している。
- ・ 「大学図書館研究」のJ-STAGE上での新規公開を9月15日に行った。その後、70号まで遡り順次公開を行っている。また、1～69号については、メタデータを1件ごと確認し、順次公開している。
- ・ J-STAGEでの公開に合わせた新投稿規程及び投稿用の原稿テンプレートを公開した。
- ・ J-STAGEへの登録については、推奨されているXML一括登録を利用する場合、システムの導入等が必要なことから、当面は個別にWeb登録を行うことを予定している。また、登録作業を編集委員会で行うにあたり、編集委員の増員を検討している。

(3) 大学図書館著作権検討委員会報告

服部職員（早稲田大学[主査]）より、資料7に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 平成29年10月9日付で「大学図書館における著作権問題Q&A」を第9版に改訂した。
- ・ 著作権法の改正により、教育利用における異時送信についても権利制限の範囲内に含む件について、著作権管理団体と協議を行っている。今後、必要に応じて各大学の利用事例等を問い合わせる場合があるので、その際にはご協力いただきたい。
- ・ 大学図書館著作権検討委員会の繰越金を活用し、2月20日ごろから英国著作権管理団体及び大学図書館への実地調査を予定している。

(4) シンポジウム企画・運営委員会報告

熊淵課長（東京大学[主査]）より、資料8-1～8-4に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 平成29年11月9日に図書館総合展のフォーラムの一つとして開催した平成29年度大学図書館シンポジウムについて、226名の参加者があり大変好評であった。
- ・ 平成29年度から国公私Webサイトのウェブフォームによる参加受付を開始した。
- ・ 当日の講演資料や簡単な報告を協力委員会のWebサイトでも公開を予定している。

(5) GIFプロジェクトチーム報告

大西部長（大阪大学[主査]）より、資料9に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 日米および日韓ILL/DDプロジェクトの平成29年度上半期の参加状況及び実施状況は、例年と大きな変動はなかった。
- ・ GIFプロジェクトの終了について、9月14日付で参加機関に通知を行った。また、北米日本研究図書館資料調整協議会（NCC）及び韓国教育学術情報院（KERIS）と終了の手順について調整を進めている。

また、中川係長（横浜市立大学[事務局]）から、平成30年4月1日以降の国際ILLについては、図書館対図書館でのやり取りとなることから、国際ILLに関する個別対応の窓口は、協力委

員会内には設置しないことが常任幹事館担当者打ち合わせで確認されたことについて補足があった。

(6) Web サイト運用チーム報告

荘司部長（早稲田大学[主査]）より、資料 10 に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 協力委員会の Web サイトを 12 月 1 日に正式公開し、「加盟館限定ページ」の運用を開始した。
- ・ Web サイトの編集用アカウント及びパスワードについては、今後年 1 回、7 月の主査交代のタイミングで更新することとした。
- ・ 国公私立大学図書館協力委員会からのお知らせ及び過去に『大学図書館協力ニュース』に掲載していたお知らせは、Web サイト・メールで周知を行い、その他はメールのみで周知することとした。
- ・ Web サイト運用チームの予算については、継続した支出が見込まれないことから、チームの予算は付けず、必要に応じて常任幹事館の承認を経て、予備費から支出することを検討している。

(7) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）報告

小陳室長（国立情報学研究所[JUSTICE 事務局長]）より、資料 11 に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 出版社交渉では、合意 55 社、120 提案（11 月 16 日時点）と昨年度と同規模の実績となっている。また、大手出版社とは提案更新のタイミングであったため、2016 年度中から交渉を行い、概ね従来のモデルのまま更新を行った。
- ・ 電子リソースのバックファイル・電子コレクション等の拡充の一環として、NII で購入した「Taylor & Francis」の National license の提供を開始した。
- ・ 一橋大学より、2017 年 11 月 20 日～2018 年 2 月 16 日の間、実務研修生 1 名を受け入れている。
- ・ ICOLC 秋季会合（プラハ（チェコ））に 2 名を派遣した。

(8) オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）報告

岡部部長（筑波大学[JPCOAR 運営委員会委員長]）より、資料 12-1 および 12-2 に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 国際的な動向・技術の進展に合わせて「junii2」を改訂し、「JPCOAR スキーマ」を策定し、11 月 2 日に通知した。また、同スキーマの説明会を実施し、概要や今後の対応スケジュール等について紹介を行った。
- ・ オープンアクセスに関する国際会議に参加し、事例報告及び最新動向の情報収集を行っている。
- ・ 2017 年度総会を平成 30 年 3 月 14 日（水）に予定している。

(9) これからの学術情報システム構築検討委員会報告

小野課長（国立情報学研究所[委員]）より、資料 13 に基づき、以下のとおり平成 29 年度上半期の活動報告があった。

- ・ 「これからの学術情報システムに関する意見交換会」を全国各地で開催しており、12 月 20 日（東京会場）の開催終了後、内容について報告を行う予定で進めている。

(10) SCOAP³ タスクフォース報告

小野課長（国立情報学研究所[事務局]）より、資料 14 に基づき、以下のとおり活動報告があった。

- ・ 国公立大学図書館に対しフェーズ 2 への参加意向調査を行った結果、現時点でフェーズ 1 の参加機関を超える 40 機関から参加の回答を得ている。

(11) 関係機関報告

ア 国立大学図書館協会報告

熊淵課長（東京大学[会長館]）より、資料 15 に基づき、10 月 24 日に開催された秋季理事会の報告、および今後開催予定の会議、シンポジウム等についての説明があった。また、広報改善の一環として国立大学図書館協会のウェブサイト更新を予定している旨の報告があった。

イ 公立大学協会図書館協議会報告

大前室長（大阪府立大学[会長館代理]）より、資料 16 に基づき、11 月 22 日に開催された第 2 回拡大役員会について報告があった。

ウ 私立大学図書館協会報告

皆見課長（名城大学[会長館]）より、資料 17 に基づき、第 78 回総会・研究大会、東地区部会研修会、西地区部会研究会の開催、並びに会報の刊行について説明があった。

エ 日本図書館協会大学図書館部会報告

町田係長（首都大学東京[部会長校]）より、資料 18 に基づき、第 103 回全国図書館大会東京大会への後援及び大学図書館シンポジウムの開催について報告があった。

オ 国立情報学研究所報告

小野課長（国立情報学研究所）より、資料 19 に基づき、平成 29 年度 SINET・学術情報基盤サービス説明会についての紹介があり、実務研修の受講状況、JAIRO Cloud の利用状況、SPARC Japan セミナー開催状況、コンテンツサービスの機能拡張等の対応状況について報告があった。

カ 国立国会図書館報告

大島課長（国立国会図書館）より、資料 20-1 に基づき、デジタル化資料送信サービスの状況について報告があった。また、資料 20-2 に基づき、図書館協力事業の実施経過として、研修事業、レファレンス共同データベース事業、視覚障害者等用データの収集および送信サービスについて報告があった。

加えて、資料 20-3 に基づき、国立国会図書館検索・申込オンラインサービスの切り替えに伴うサービス休止について、12 月から準備を予定しているとの報告があった。

キ 文部科学省報告

丸山室長（文部科学省）より、机上配布資料に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 会計検査院による電子ジャーナル契約の現地検査について、平成 28 年度については特に指摘はなかったが、今後も電子ジャーナル契約については定期的な検査が行われる可能性があるため、適正な契約に努めていただきたい。
- ・ 「明治 150 年」関連施策の推進として、関連するイベントを行う際には、ロゴマークの使

用、ポータルサイトへの情報掲載にご協力いただきたい。今後、ポスターも準備ができ次第、各大学図書館へ送付を予定している。

- ・ 読書バリアフリーを進めるための議員立法が検討されている。読書障害者の読書活動を推進するため、電子図書や拡大図書の所蔵・利用支援推進、「サピエ」等との接続などが求められている。
- ・ JUSTICE の活動について、NII と国公立大学図書館協力委員会の連携が重要であるため、今後も主体的な協力をお願いしたい。

(12) その他
特になし

2 協議事項

(1) 平成 28 年度決算（案）及び監査報告について

中川係長（横浜市立大学[事務局]）より、資料 22-1 に基づき平成 28 年度決算（案）の説明があり、引き続き、町田係長（首都大学東京）より、資料 22-2 に基づき監査報告の説明が行われ、いずれも承認された。

(2) 平成 29 年度予算（案）について

中川係長（横浜市立大学[事務局]）より、資料 23 に基づき、平成 29 年度予算（案）について、「協力ニュース」の終刊及び「大学図書館研究」の OA 化に伴い収益分配金がなくなること、「協力ニュース編集委員会」への交付金は活動終了に伴い廃止していること、「大学図書館研究編集委員会」への交付金を J-STAGE 初期設定費用等のため平成 29 年度のみ 60 万円に増額していること、予算に計上しない突発的な支出が生じた際には、常任幹事会等の審議を経て予備費からの支出を想定している旨の説明があり、原案の通り承認された。

(3) 監事館の選出について

中川係長（横浜市立大学[事務局]）より、監事館の選出規定について説明があり、委員館から東海大学、委員館以外から東京工業大学が推薦され、承認された。

(4) その他
特になし

3 懇談事項

(1) その他
特になし

以上

平成30年2月6日

国公立大学図書館協力委員会委員長

横浜市立大学学術情報センター長

三浦 敬（公印省略）